祝 おかげさまで 7 月号 №.100

2019年7月17日 発行

【編集/発行】

社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会 **T029-2205**

陸前高田市高田町字鳴石50番地10 電話番号 0192-54-5150

ホームページ http://www.rikutakashakvo.ip/

くぜんたかた 協だより

主な内容

社協だより100号特集、会長就任のご挨拶、役員改選 ・・・	2~3F
平成30年度事業報告、収支決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4~5F
フードバンク、ふれあい総合相談所のご案内・・・・・・・	••6F
ふれあいグラウンドゴルフ交流会、こんにちは赤ちゃん訪問・	• • 7F
ふくしの情報、お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・	• •8F









今月の表紙

お茶っこサロン 令和元年6月6日(木)

長部地区コミュニティセンターでの様子

この日、長部地区の「お茶っこサロン」では、「ささ舟」の 皆さんによる読み聞かせが行われました。

宮沢賢治の「注文の多い料理店」「子宝地蔵」「フクロウの 染物屋さん」のお話、最後には参加者全員で大きな声で「おだ ずばなし」というお話を読みました。「参加者さんの方言がと ても上手!」と「ささ舟」の皆さんも大絶賛でした。

100号 特集

震災以降の陸前高田市社協の歩みを 社協だよりとともに振り返ります

TO CHECKES To Provide The Control of the Control

「つないで陸高」臨時号No.1 平成23年7月15日発行 1色刷り/月2回発行



「つないで陸高」臨時号No.10 平成24年1月25日発行 1色刷り/月1回発行



「つないで陸高」№30 平成25年9月18日発行 2色刷り



「りくぜんたかた社協だより」 №42 平成26年9月発行

平成23年(2011年)

- 3月 ・ 東日本大震災により「ふれあいセンター」「はまなすの家」が被災し、 会長、副会長など多くの役職員が犠牲となる
 - ・ 陸前高田ドライビングスクールの食堂内を借りて社協仮事務所、 災害ボランティアセンターを設置し業務を行う
- 4月 ・ 横田町狩集地区に災害ボランティアセンターを移転開設
- 5月 ・ 社協仮事務所を陸前高田ドライビングスクール宿舎マイウス内に移転
- 6月 ・ 竹駒小仮設住宅内仮設テントで「青空サロン」がスタート
- 7月 ・ 社協広報臨時号「つないで陸高」第1号発行
- 8月 ・ 生活支援相談員が設置され、仮設住宅等の見守りが開始
- 11月 ・ 社協仮事務所を竹駒地区コミュニティセンターへ移転
- 12月 「思い出の品」返却会場が鳴石地内に移転

平成24年(2012年)

- 1月 ・ 介護予防「いきいきライフ」事業を再開
 - 市老連「大名湯治旅行」開始
- 3月 ・ 社協事務所を鳴石仮設事務所へ移転
- 10月 ・ 陸前高田市金婚祝賀会を市内6ヶ所に分けて開催
- 11月 ・ 社協竹駒事務所が完成し、生活支援相談員の活動拠点となる
- 12月 ・ 災害ボランティアセンター閉所

平成25年(2013年)

- 8月 ・ 指定通所介護事業所「しおさいの家」を開所
 - 社会福祉協議会世帯会費を再開
- 10月 ・ 赤い羽根共同募金(戸別募金)を再開
 - 「ふれあいまつり」を再開
 - ・ 「福祉まつり」(社会福祉大会・老人福祉大会・日赤大会)を再開

平成26年(2014年)

- 3月 ・「ふれあい総合相談所」 開設
- 9月 ・ 社協広報誌を「りくぜんたかた社協だより」に名称変更
- 10月 ・「赤い羽根共同募金オープニングセレモニー」を開始

平成27年(2015年)

- 4月 ・ 市からの受託事業として、市営住宅下和野団地内に「陸前高田市市民 交流プラザ」開所
- 7月 ・ 赤い羽根共同募金「あったかいわてプロジェクト〜地域みまもり応援募金〜」 の寄付により「福祉無料運送事業」を開始
- 12月 ・「歳末たすけあい運動」を再開

平成28年(2016年)

- 3月 ・ 「福祉無償運送事業」が市からの受託事業となる
- 12月 市からの受託事業として、市営住宅中田団地内に「陸前高田市市民 交流プラザ」開所

平成29年(2017年)

10月 ・ 市老連「芸能発表会」を再開

平成30年(2018年)

1月 ・「こんにちは赤ちゃん訪問事業」開始



№.73 平成29年4月26日発行



No.85 平成30年4月15日発行 4色刷り/月1回発行



№97 平成31年4月17日発行

震災後に発行された「つないで陸高」は、当時、 社協の運営を支援してくださったブロック派遣職 員の方々の協力により、陸前高田の復興への願い や思いをこめて作成されました。

その後、平成26年9月号(No.42~)から「りくぜんたかた社協だより」としてリニューアルし、平成30年度(No.85~)からフルカラーで毎月第3水曜日に発行しています。

今後も、「見やすくやさしい広報」を目指し、 市内の福祉に関する情報をお届けいたします。 皆様からのご意見やご要望などありましたら、

る お気軽に社会福祉協議会までお願いいたします。

陸前高田市社会福祉協議会 新役員のご紹介

この度、6月24日に開催された令和元年度第1回 定時評議員会において、理事・監事が選任されました。 また、その後の理事会において、互選により会長、 副会長、常務理事が選任されました。



会長就任のごあいさつ

社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会会 長 佐々木 公 一

梅雨明けも近いと思われますが、7月初旬には梅雨前線の活動が活発化し、九州や西日本では猛烈な雨が降り続いて災害の発生が心配されておりました。このような状況が当地方に発生する可能性もあり、日頃の心構えや災害に対する備えが大事であると考えさせられます。

私こと、6月25日に開催されました第2回理事会において、昨年に引き続き陸前 高田市社会福祉協議会の会長に選任されました。就任にあたりましてはその職責の大 きさに身の引き締まる思いであります。もとより微力ではございますが、地域福祉の 推進を目的に、誰もが安心して暮らすことが出来る福祉の町づくりを目指して活動し てまいりたいと思っております。

震災から8年が経過した本市では、嵩上げ地に大型商業施設が建設され、その周辺に店舗が徐々に再建され、高台の宅地整備も進んで集落が形成されてまいりました。一方で生活環境の変化や高齢化社会への進行が進む中、一人暮らしの世帯や高齢者世帯の増加が見られ、地域内でのつながりや支え合いなどを重視したコミュニティづくりも求められつつあります。私どもは地域住民の身近な存在として或いは相談相手として地域に密着した活動を進めるべく努力してまいりますので、これまで同様ご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げ、就任にあたってのご挨拶といたします。

陸前高田市社会福祉協議会 役員

任期:令和元年6月24日~選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定期評議員会終結の時まで

会	長	佐く	木	公	_		理	事	吉	田	雄	幸	(新)
副会長	長	菅	野	征	_		理	事	熊	谷	信	義	
副会長	長	新	沼	幸	男		理	事	黄丿	川田	純		
							理	事	菅	野	正	明	(新)
	理事	佐	藤	尚	子	(新)	理	事	千	葉	恭	_	(新)
(兼争)	務局長)						理	事	佐	藤		弘	
理	事	菅	野	賀	_	(新)	理	事	吉	田	幹	夫	
理	事	佐	藤	信	_		理	事	小里	予寺	文	子	(新)
理	事	及	Ш		脩								
理	事	大	坂	幹	夫								
理	事	村	上	孝	嘉		監	事	佐	藤	公	哉	
理	事	横	田	祐	佶		監	事	金	野		実	

社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会 平成30年度事業·決算報告

【概要】

平成30年度は、自然災害に伴う大きな被害が全国各地で発生した年でしたが、災害ボランティアセンターの設置等、本会の役割について改めて考える機会ともなりました。

総合交流センター(夢アリーナたかた)は、スポーツや各種イベントの開催だけでなく、災害時の支援拠点としての役割も兼ね備えた施設となっています。また、保健福祉総合センターが完成し、保健・医療・福祉の連携の拠点として、市民の健康面のサポートしていく体制も整ってまいりました。

市内の小中学校に建設されていた仮設住宅は全て撤去され、災害公営住宅や高台等への住宅再建が加速されている中で、本会としては、未だ仮設住宅での暮らしを余儀なくされている住民の方々をはじめ、新しい生活を始めている住民の方々への見守り・相談、さらには、地域での新しいコミュニティ作りへの支援は、住民や関係機関と連携を取りながら進めてまいりました。

主な事業内容と実績

地域福祉事業

- 社協広報誌の発行 12回
- うるおいとやすらぎの家事業

助成金交付額 2,085,000円/11地区

- ふれあいネットワーク事業 対象者 5名/2地区
- こんにちは赤ちゃん訪問事業 86世帯へ訪問
- 福祉バスの運行 9回
- 金婚祝賀会の開催 参加者69名/参加率58%
- 福祉大会の開催

受賞者 個人29名、4団体/出席者 288名

○ 福祉無償運送事業「おひさま」

登録者数 329名/利用延回数 2,867回

- 支え合いマップ作成事業 米崎町脇の沢団地
- 福祉団体への助成 469,000円/6団体
- **福祉学習会の開催** 市立矢作小学校、県立高田高等学校
- ふれあいサロンの開催

実施回数 148回/参加延人数 2,226名

○ 生活支援相談員の配置

訪問対象世帯数 1,402世帯 訪問延件数 19,358件

- 自立再建後のコミュニティ再生支援
 - 岩手県大型災害公営住宅自治会交流会への協力
 - 岩手県主催「コミュニティ食堂」への協力
- 市民交流プラザの運営
 - 「市民交流プラザだより」の発行
 - 下和野「一緒に昼食を食べる会」の開催
 - 中田市民交流プラザ第1回住民交流会の開催
- 介護予防・いきいきライフ事業

開催数 24回/参加数 533名

相談業務につきましては、生活困窮者自立促進支援 業務をはじめとして、日常生活自立支援事業や生活福 祉資金貸付事業等とも連携した取り組みを行い、市民 の方々の抱えている課題解決に努めました。

民生委員児童委員協議会のご協力をいただいている 「こんにちは赤ちゃん訪問事業」は、住民と地域の民 生委員と社協を顔の見える関係に結びつける形で、子 育て世代の孤独防止にも役立っています。

介護保険事業では、部分的に人材不足や利用者の減 少等による介護報酬の減収が見られますが、職員一同 利用者に満足していただけるサービスの提供に努めま した。

東日本大震災から8年となる平成30年度は、各種 復興事業が終盤にかかっていく中で、継続的な事業を 見直しつつ、将来も見据えた活動に取り組むことに努 めました。

福祉サービス利用支援

- 生活福祉資金 相談件数 43件 貸付件数 10件 福祉費 5,832,000円 教育支援資金 7,016,000円
- たすけあい資金

貸付件数 1件/貸付金額 30,000円

- **生活困窮者自立支援事業** 相談件数 115件
- フードバンク 提供延回数 18回
- **日常生活自立支援事業(あんしんねっと)** 利用者数 22名

ボランティア活動センター

- ボランティア活動保険の加入促進
- **福祉ボランティア講座の開催** 参加者20名
- 市民ボランティアの登録 28名、12団体
- **市内外ボランティアのマッチング** 119件
- 資機材の貸出し 26件

福祉団体との共同事業

- 陸前高田市民生委員児童委員協議会
- 陸前高田市老人クラブ連合会
- 陸前高田市ボランティア連絡協議会

在宅福祉事業

○ 介護保険訪問介護

提供延件数 2,422件/月平均利用者数 15名

- 障がい者訪問介護
 - 提供延件数 2,318件/月平均利用者数 31名
- **居宅介護支援** 介護給付 月平均利用者数 56名 予防給付 月平均利用者数 6名
- 通所介護事業

登録者数 22名/提供延件数 1,572件

平成30年度決算(法人全体)

資金収支計算書

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日

【収入の部】 (単位:円)

	勘定科目	決算額			
	会費収入	6,684,300			
	寄付金収入	3,764,674			
	経常経費補助金収入	29,894,060			
	助成金収入	4.020,000			
事業	受託金収入	86,200,116			
事業活動による収入	貸付事業収入	30,000			
	事業収入	651,500			
以入	介護保険事業収入	29,281,000			
	障がい福祉サービス等事業収入	8,647,983			
	受取利息配当金収入	16,559			
	その他の収入	1,011,993			
	事業活動収入計	170,202,185			

	勘定科目	決 算 額			
-	人件費支出	119,242,575			
	事業費支出	13,358,982			
事業	事務費支出	27,821,627			
事業活動による支出	貸付事業支出	30,000			
	共同募金配分金事業費	2,152,000			
	助成金支出	30,33,000			
	その他の支出	28,480			
	事業活動支出計	165,666,664			
浜	基金積立資産支出	8,593			
活動による支出	積立資産支出	4.000,000			
	その他の活動による支出	741,302			
出	その他の活動支出計	4,749,895			

当期資金収支差額合計	∆214,374
前期末支払資金残高	78,639,642
当期末支払資金残高	78,425,268

貸借対照表

平成31年3月31日現在

資産(D部	負債の部			
勘定科目	金額	勘定科目	金額		
流動資産		流動負債			
現金預金	64,553,969	事業未払金	2,039,884		
事業未収金	16,463,527	未払費用	2,578,259		
未収補助金	3,990,000	預り金	4,329		
前払金	16,092	職員預り金	1,975,848		
固定資産		賞与引当金	5,572,844		
基本資産		負債の部合計	12,171,164		
土地	6,328,300				
建物	27,396,180	純資産の部			
定期預金	1,000,000	基本金			
その他の固定資産		第1号基本金 1,000,000			
建物	222,726	基金			
構築物	1,107,295	福祉基金	114,753,146		
車両運搬具	1,658,388	国庫補助金等特別積立金	26,476,120		
器具及び備品	1,553,170	その他の積立金			
福祉資金積立資産	114,753,146	運営資金積立金	37,550,269		
貸付事業貸付金	30,000	たすけあい資金積立金	9,419,703		
運営資金積立資産	37,550,269	次期繰越活動増減差額	84,724,723		
たすけあい資金積立資産	9,419,703	(うち当期活動増減差額)	2,230,591		
差入保証金	20,000	純資産の部合計	273,923,961		
長期預け金	32,360				
資産の部合計	286,095,125	負債及び純資産の部合計	286,095,125		

「もったいない」を「ありがとう」に

食品を募集しています

社協では、NPO法人フードバンク岩手と連携 し、皆さまからご提供いただいた食品を食料支 援が必要な方へお届けしています。

ご家庭に眠っている食品がございましたら、 引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

ご提供いただきたい食品 ☑ 未開封で賞味期限が1ヶ月以上のもの

缶詰、レトルト食品瓶詰、ふりかけ、乾物、お米 (前年度産までのもの)、麺類、贈答品など。 ※ 特におかず類が不足しています。



市内では、社協鳴石事務所内と 市コミュニティホール内に「フード ポスト」を設置し、食品をお預かり しています。

また、ご連絡いただければ、ご 自宅まで回収にお伺いします。

フードドライブのしくみ

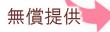


支援者(企業・個人)から



フードバンク岩手

食品の寄付





食の支援が必要な方や 福祉施設などへ



フードドライブとは・・・

いただきものや買いすぎてしまったものなど、保 管されたままの食品をフードバンクを通じて地域の 生活困窮者や児童・障がい者施設等に寄付する活動 です。

賞味期限はまだあるけれど、 事情により廃棄している食品等はありませんか?

企業様等からの大口寄付も受け付けております!

- ・廃棄にかかる経費削減に
 - , 社会貢献の一環として
 - 食品ロスをなくすために



倒 こんなお困りごとありませんか?

- ✓ 仕事がなかなか決まらない
- ✔ 借金を抱えており、生活が苦しい
- ✔ 明日から食べるものがない
- ✔ 周囲に頼れる人がいない
- ✓ なぜかいつもお金が足りない
- ✔ こどもの将来が心配

どんな相談、支援が受けられるの?

・あなたの困りごとを一緒に整理し、解決 に向けた選択肢を考えます。 自立相談 援 支 ・必要な場合には、適切な関係機関へ繋ぎ、 切れ目のないチーム支援をします。 日常の生活費やその使い方に不安がある 方と一緒に家計を見直します。 家計相談 支 援 • 借金や滞納の整理と返済方法を一緒に考 えます。 ・日常生活自立支援→生活習慣を見直し、 リズムを整えます。 就労準備 ・社会生活自立支援→コミュニケーション や社会参加に向けた訓練を行います。 支 援 ・就労自立支援→履歴書・面接の練習、就 労体験等を通じ、働く準備をします。

この事業は「生活困窮者自立支援法」に基づき、陸前高田市より 委託を受けて実施しています。

そんな時には・・・

ふれあい総合相談所 へ ご相談ください

仕事、お金、住まいなど日常生活の中で、 様々な不安や悩みを抱える方のための相談窓 口を設置しております。ご相談者やご家族の 「何とかしたい」という気持ちに寄り添っ て、自立に向けた支援をしていきます。



- ① まずはご相談下さい。
- ② あなたの話をよく聞き、困りごとを整理します。
- ③ 一緒に解決策を考え、解決に向けたプランをたてます。
- ④ プランに沿って、あなた(世帯)の自立をお手伝いします。

ふれあい総合相談所

陸前高田市高田町字鳴石50-10 (陸前高田市ふるさとハローワーク隣)

受付:月曜日~金曜日 ※ 年末年始、祝日を除く

8:30~17:15

電 話:54-5150/5151 担 当: 脇坂



市老人グラブ連合会

第8回グラウンドゴルフ交流大会

第8回グラウンドゴルフ交流大会は、6月12日(水)、住田町営野球場で行われました。

この交流大会は、住田町老人クラブのご厚意により、震災後、平成24年度から毎年行われています。今年度は、陸前高田市老人クラブの会員さんや一般のグランドゴルフ愛好者53名がエントリーし、住田町の方々と交流を深め、参加者皆さん和気あいあいと、楽しんでいる様子でした。

大会成績 (敬称略)							
	男性の部						
第 1 位	横澤喜一	(陸前高田市)					
第 2 位	佐々木 胖	(陸前高田市)					
第3位	佐藤 誠	(住田町)					
	女性の部						
第 1 位	菅野 和子	(陸前高田市)					
第 2 位	村上 照子	(住田町)					
第3位	菅野 喜代子	(陸前高田市)					



競技中の様子

入賞おめでとうございます // (男性の部、女性の部 1 位~6位入賞の皆さん)



問い合わせ 市老人クラブ連合会事務局 電話 54-5150/5151 担当 中里、熊谷



SARSB

命名の人動門

4月~5月生まれ の赤ちゃん (ご家族)をご紹介



「こんにちは赤ちゃん訪問」は、地域の身近な相談役である民生委員・児童委員さんが、赤ちゃんが生まれたお宅を訪問し、お祝いをするとともに、子育て中の方々の様々な不安や悩みを聞き、必要に応じて適切なサービスにつなぐなど、お子様の成長を地域で見守るきっかけづくりを目的としています。



かんの ましろ 管野 真白ちゃん (気仙町)



高橋 絢音ちゃん





対野 莉子ちゃん (高田町)



嶋村 青波くん



高橋 芽生ちゃん (竹駒町)

お困りごとなどありましたら、お気軽に地域の民生委員さんへご相談下さい。 写真の掲載にご協力いただいた皆さん、 ありがとうございました。



こんにちは赤ちゃん訪問事業は、 赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。



生活福祉資金貸付制度のご案内

生活福祉資金貸付制度は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯などの 相談支援を行い、経済的自立・生活の安定を図ることを目的とし、無利子・低利子で貸付を 行う制度です。

◎ 利用方法

生活福祉資金貸付制度は、世帯の自立を目的と していますので、まずは世帯の状況などのお話、 ご相談を詳しく伺います。

現在抱えている問題や、生活課題を改善できる よう、話し合いのうえ、その世帯に必要な資金の 申請手続きを行います。

申請には、地域の民生委員さんによる意見書が 必要になります。

◎ ご利用いただける世帯

岩手県内に住民登録し、居住する以下の世帯。

- 低所得世帯 障がい者世帯
- 高齢者世帯 ・ 牛活保護世帯
- ※ 資金種によって貸付対象世帯が異なります。

◎ 貸付利子について

連帯保証人を立てた場合「無利子」 連帯保証人を立てない場合「年1.5%」です。

- 教育支援資金及び緊急小口資金は、 × 連帯保証人の有無にかかわらず無利子です。
- **※** 延滞利子は年5%となります。

◎ 資金の種類

① 総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、 生活の立て直しのために継続的な相談支援を行い ながら生活費等を貸付します。

2 福祉費

技能習得に必要な経費や住宅の補修費等を貸付 します。

③ 緊急小口資金

緊急かつ一時的に世帯の生計維持が困難となっ た場合の生活費を貸付します。

4 教育支援資金

大学・短大・高校等の就学や入学に際し必要な 経費を貸付します。

⑤ 不動産担保型生活資金

今お住いの居住用不動産を担保に生活費を貸付 します。

※「総合支援資金」「緊急小口資金」については、原則として生活困窮 者自立支援法に基づく自立相談支援事業(「ふれあい総合相談所」)の 利用が要件となります。

ふれあい総合相談所 問い合わせ 電話 54-5150/5151 担当 脇坂、熊谷





お茶っこサロン

コミセン

8月 6日(火)10:00~

りくカフェ 歌のサロン

下矢作 コミセン

8月26日(月)10:00~

りくカフェ バスツアー

横田 コミセン

生協 ものづくり 8月28日(水)13:30~

竹 駒 コミセン 8月20日(火)13:30~

りくカフェ ミ二運動会

長 部 コミセン 1日(木)13:30~ 県レク

8月15日(木)※ お休み

米 崎 コミセン

8月 8日(木)10:00~

大船渡警察署 交通安全講話





介護予防教室 いきいきライフ

会 場:霊泉玉乃湯

8月2日(金) 横田町

詳しい内容は回覧チラシをご覧ください。

お茶っこサロンに参加される皆さんへ

マイカップの持参をお願いします。 内容は都合により変更になる場合があります。

お茶っこサロン・いきいきライフに関する 問い合わせは

竹駒事務所 電話 47-5370 まで